

エンカウンター（ENCOUNTER）

第 5 号（後半）

平成 14 年 9 月 19 日

ビリー・グラハム「きょうのみことば」より（1）
いのちのことば社 1979 年発行
今は絶版。

ビリー・グラハム(1918～)

アメリカのキリスト教福音主義伝道者。

1918 年アメリカノースカロライナ州に生まれる。

1943 年ホイトン大学卒業

1947 年（29 歳のとき）ミネアポリスのノースウエスタン大学学長

1950 年ビリー・グラハム伝道協会を設立し、以後学長職も辞し、クルーセード活動（大集会、テレビ、ラジオ、文書などによる大衆伝道）に専念。単純で力強い聖書中心のメッセージを説き続けた。

18 世紀のウェスレー、19 世紀のス波尔ジョンと並ぶ 20 世紀最大の説教者といわれる。

日本では、1967 年、1980 年（昭和 55 年、1990 年（平成 2 年）の 5 回、クルーセードを開催した。

山口周三は、1980 年のクルーセードでメッセージを聞いて、以後熱心なビリー・グラハムの信奉者になった。

1月1日

過去に執着せず、前にあるものを望み見……。

ピリピ3・13

私たちは、時の短いことを思わされている。また、私たちの失敗、誤り、のがした機会を思い出し、来るべき年にはもっと時をよく用いることを誓うのである。私たちは、明るく、楽しくするために、あるいはしばしば忘れていた小さな親切をするために

私たちの家族に愛を示すために 時間をかけるべきである。精神科医は、ほとんどの人が愛に飢えている ことを告げている。心を込め、時間をとって「行ってまいります」と言いなさい。それによって私たちは、さらに喜ばしい気持をもって仕事に出て行くことが出来る。家族と親しむ時間をとろう。私たちは機械やロボットではない。幸福な家庭を築く秘訣は、家族のひとりひとりが、愛を与え、愛を受け入れることを学ぶことにある。

この年、時間をかけて、私たちの愛をいろいろな形で表現しようではないか。

1月2日

神よ。あなたは私の神。私はあなたを切に求めます。

詩篇63・1

日ごとのデボーションについてほとんど学んでいないクリスチャンがいる。しばらく前、ある警察官が、「勝利の秘訣は何ですか」と質問をした。それに対して私は「そのために特別の呪文があるわけではない」と答えた。もしそれをひとことで述べるとすれば、私は明け渡しあると言いたい。次は、献身であろう。とにかく日ごとのキリストとのデボーションの代わりになるものはない。あなたの静思のとき、祈りのとき、みことばの学びの時は、幸福なクリスチャン生活に絶対欠くことのできないものである。日々のキリストとの歩みなしに、幸福な、力強いクリスチャンとなることはできない。今日もキリストは、クリスチャンを、聖めと献身と全たき明け渡しに召しておられる。それによって、霊的生活の成功と失敗の相違がもたらされるであろう。助ける立場と助けられる立場の相違がもたらされるであろう。またそれによって、次のようなこと、すなわち、あなたの習慣、祈りの生活、聖書を読むこと、与えること、あかし、教会員であることの相違がもたらされるであろう。今こそ、クリスチャンの決断すべき時である！

1月4日

主は、私の光、私の救い。誰を私は恐れよう。

詩篇27・1

聖書は、人間の心に恐れを起こすかもしれないあらゆる種類のトラブルにおける神の助けと慰めの保障で満たされている。今日クリスチャンは、神は、ご自身に信頼を置く人を救い出そうとしておられることをまったく確信して、聖書に来ることができるのである。クリスチャンは、約束と、希望と喜びとをもって、そして、恐れと失望と落胆なしに将来を見つめることができるのである。